

同時資料提出先
広島県政記者クラブ・合同庁舎記者クラブ・中国地方建設記者クラブ
山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町クラブ

3月15日開催 広島湾再生推進会議 の

議事要旨を公表します。



本日開催しました広島湾再生推進会議の議事内容を別紙-1のとおり
公表します。

なお、会議資料については、中国地方整備局の広島湾再生プロジェクト
のホームページでも公表しております。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/hiroshimawan/about/kaigi12.html>

問い合わせ先

●国土交通省中国地方整備局 TEL (082) 221-9231 (代表) (平日昼間)
担当) 企画部 技術企画官 奥名 孝行 (内線3126)
企画部 広域計画課長 藤原 宏志 (内線3211)
企画部 広域計画課長補佐 平西 邦裕 (内線3212) 夜間 511-6132

(広報担当窓口)

中国地方整備局 広報広聴対策官 坂屋 政之 (内線2117)
中国地方整備局 企画部 環境調整官 松本 治男 (内線3114)

◆3月15日開催の広島湾再生推進会議における議事要旨◆

(1)広島湾再生行動計画(第一期)最終評価(案)

【審議事項】

- ・第一期計画の行動指標、状態指標の評価結果
- ・第一期計画における課題

【審議結果】

全会一致で承認

【主な質問と回答】

- ・目標3の状態指標「自然景観、歴史・文化的資源の保全状況」の評価が「計画時の状態が概ね維持されている(横這い)」となっているが、海面浮遊ごみの回収量が増加傾向にあるというデータもあるので、評価はこれでよいのか？
⇒ 広島湾では、市民ボランティア等の清掃活動によりきれいに維持されている海岸と、ごみの漂着等により景観が悪化している海岸の両方があるので、ここでは「計画時の状態が概ね維持されている」という評価としている。

(2)広島湾再生行動計画(第二期)(案)

【審議事項】

- ・第一期計画の課題を踏まえた提案
- ・時代背景、環境の変化を受けた提案 = 「豊かな海」の提案
- ・新たに設立予定の官民連携組織

【審議結果】

全会一致で承認

(3)広島湾再生推進会議 設置要綱改訂(案)及び推進体制(案)

【審議事項】

- ・組織体制の見直し、新メンバーの加入
- ・新たに設立予定の官民連携組織

【審議結果】

全会一致で承認

(4)官民連携組織について

【報告事項】

- ・官民連携組織の設立に向けた準備会による調整の実施
- ・概ね1年後に官民連携組織の立ち上げ(目標)

(5)その他

特になし